

集団健診のアウトソーシング化について

概要

集団健診会場約200コマ(さいわいプラザ、体育館、学校、コミセン、支所等)において、**健診機関に業務全体の全面委託化を図る。**

集団健診業務全体のイメージ(大型集团会場例)

会場設営・案内誘導業務

健診会場運営業務
(長岡市)

当日
職員4人×200コマ

- ・受付
- ・資格確認
- ・誘導
- ・クレーム対応

健診検査業務
(健診機関A.B)

- ・問診、採血他検査業務
- ・料金徴収

※健康づくり財団経由の
委託の継続

委託

集団健診業務全体を健診機関に委託

背景

- ・現行、健診業務は委託により実施しているが、本来は健診業務と一体的に行うべき受診者への個別対応や会場運営等は、市職員が対応している状況
- ・健康増進課の正規9人・会計年度6人の計15人が、ローテーションで委託機関と合同で従事 ※年間約150コマ(本庁地域)
- ・市職員は、健診現場だけではなく、予約受付、健診後の結果事後処理、統計報告や補助金事務等の内部業務も多く、加えて事務拠点化による業務一元化により事務量が増大し、慢性的な人員不足の状態

課題

- ・受診率向上や特定保健指導等の個別訪問など、本来必要な市民の健康課題解決に対し十分な時間を掛けられていない状況
- ・現在、従事する人材の雇用維持が困難となっている。

改善・効果

- ・民間ノウハウを生かし、健診運営の恒常的な質を担保
※全面委託を進めていく中で、将来的な人員削減も見込んでいく。
- ・市は課題解決に注力(受診勧奨、保健師業務の推進、DX化検討)

令和7年度の方向性(案)

- ・大型集団健診会場(さいわいプラザ 約70コマ)において、**試行的に民間委託化を実施。**健診機関に集団健診業務全体を一括委託(市職員は現場統括・検証のため、1~2名配置)
- ・委託化による検証を行い、R8年度以降順次、支所地域の会場や地区会場にも拡大する。※R7~9年度の3か年計画で完全委託化を目指す。

費用(委託料)

※一般会計と国保特会から支出(受診数で按分)

R7年度 約4,740千円(さいわいプラザのみで試行)

R8年度 約10,500千円 R9年度 約13,300千円(見込)

◎市民の健康づくり環境整備に向けた効果

健診を受託する機関が一体的に実施をすることで、安全且つスムーズな体制維持、健康状態把握や生活習慣病対策としての健診の受診率向上、事後指導が充実し、市民の健康寿命延伸が図られる。